

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4394
23年10月27日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

郵崎労結成30周年 記念レセプション

おはようございます。

10月も下旬になりました。秋晴れが続いていて日中は汗ばむ陽気ですが、朝晩は冷え込みます。インフルエンザも流行していますので体調管理には注意しましょう。

10月21日(土)ホテルニュータナダにおいてコロナ禍で延期となっていた「郵崎労結成30周年記念レセプション」を開催しました。

労使協調の連合への加盟に反対し、1990年5月27日に40名で結成した郵政長崎労働組合(郵崎労)は今年で結成33周年を迎えました。郵崎労は、結成後、沖縄、福岡にも組織拡大し、郵政九州労働組合(郵九労)となります。その後、

全国の独立労組が2004年に全国統一され郵政ユニオンとなります。郵九労の名称は郵政ユニオン九州地方本部となります。



そして、2012年郵政ユニオンと郵産労との統一で、現在の名称の郵政産業労働者ユニオン長崎中央郵便局支部(略称郵政ユニオン長崎中郵支部)となります。

レセプションには現役組合員、OB・来賓の方々、全国のユニオンの仲間や共闘関係など50名強の方々にご出席頂きました。15時30分、佐田執行委員の司会でレセプションはスタートしました。山田支部長が主催者を代表して挨拶を行いました。

続いての来賓挨拶では、代表して郵政ユニオン家門副執行委員長、諫早総合法律事務所中川弁護士坂本浩典議会議員の3名の方に挨拶を頂きました。

続くメッセージ紹介では、全国から寄せられたメッセージを代表して郵政ユニオン日巻執行委員長のメッセージを代読しました。その後、向井書記長の乾杯の発声で歓談に移りました。歓談中は久々に会う仲間との話が弾み、また、おいしい料理に舌鼓を打ちました。



そんな中「郵崎労、中郵支部の歩みを振り返るスライド上映」が始まると、皆、話を止め、箸を置き、スクリーンに視線を向けて食い入るように見つめました。

上映が終わると大きな拍手が沸き上がりました。苦勞して作ったDVDですが出席者の大きな拍手でその苦勞が喜びに変わりました。



続いての「郵政ユニオン集団訴訟長崎訴訟和解勝利報告」では、各原告が登壇し、それぞれが裁判での感想と支援者に御礼を述べました。

今回のレセプションには多くの来賓の方にご出席頂きました。来賓挨拶でご紹介されなかった方々に歓談中ではありましたが、順にご挨拶を頂きました。ありがとうございました。

影を行いレセプションは終了しました。



出席者からは良いレセプションだったと言ってくれた。苦勞して準備をした甲斐がありました。「組合結成30周年」、「未来4000号」はあくまでも通過点です。「組合結成40周年」、「未来5000号」に向けて今後も運動を続けていきます。



期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎のホームページはこちら



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。期間雇用社員と正社員を。めいせ、均等待遇。なつこ差別。ユニオンは労基法裁判に勝利する。